

HEM-Net 医師研修標準カリキュラム

◆ 一般目標 (GIO : General Instructional Objectives)

1. ドクターヘリについて説明できる
2. 病院前での診療を实践できる
3. 現場における迅速な意思決定ができる
4. 現場において消防との協働が行える
5. 現場出動時の安全管理を実施できる

◆ 行動目標 (SBO : Specific Behavioral Objectives)

1. 基本的事項

- (1) 迅速な出動を实践できる
- (2) 適切な安全管理 (AMRM: air medical resource management) が実施できる
- (3) クルー/消防との適切なコミュニケーションが取れる
- (4) 非日常的環境下での臨床診断ができる
- (5) 現場における適切な治療ができる
- (6) 適切な病院選定と搬送が実施できる

2. 経験すべき具体的事項

- (1) 出動形態 (例: 下記のような事象)
 - 現場出動/病院間搬送
 - ランデブーポイントからの事故現場出動
 - 日没間際のミッション (離陸限界時間を考慮した活動)
 - 多数傷病者発生事案 (現場での患者トリアージ/搬送トリアージ)
 - 災害現場出動
- (2) 無線交信 (現場救急隊/消防本部/病院 CS/基地病院などとの通信体制を実体験する)
- (3) 症例に応じた現場診療 (例えば、外傷症例: <25 分 / 内因性疾患: <15 分など)
- (4) 医療行為 (現場/救急車内/ヘリ内)
 - 気管挿管/緊急気道確保 など
 - チェストチューブ挿入
 - FAST/静脈路確保 (含 骨髄輸液)/急速輸液/止血/心嚢穿刺 など
 - 各種薬剤投与 (降圧/鎮静/鎮痛/抗痙攣 など)
- (5) 搬送先医療機関選定
 - 患者の重症度・緊急度、地域の救急医療体制、生活圏などを考慮した病院選定
- (6) 搬送先医療機関での申し送り
 - 短時間で質の高い情報伝達
- (7) 診療記録記載
- (8) プリーフィング/デブリーフィング

3. 病院内診療

(1) ドクターヘリデータベース/診療録の管理

4. 座学、OSCE

(1) ドクターヘリシステム総論・シナリオディスカッション

(2) ヘリコプターの基礎知識(飛行原理・機体構造・航空医学)

(3) 消防、警察とのコラボレーション

(4) 高速道路の事故対応

(5) 安全管理(AMRM: air medical resource management)

(6) 関係法令

(7) JPTEC、JATEC、BLS、ICLS、PSLS、ISLS などの理念を理解する